

令和7年度第1回 立川市入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和7年5月13日（火） 立川市役所 210 会議室		
出席委員氏名	小畑徳彦 委員長、小林大祐 委員、加藤正太 委員		
審議対象期間	令和6年11月21日～令和7年3月31日		
抽出案件	工事 17件 委託 0件 総件数 17件	（備考）	
うち一般競争入札	工事 14件 委託 0件 総件数 14件		
うち特命随意契約	工事 3件 委託 0件 総件数 3件		
<p>次 第</p> <p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 審議</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 令和6年度工事契約抽出案件について(令和6年11月21日～令和7年3月31日)</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 報 告</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 令和6年度工事契約の状況について</p> <p style="margin-left: 40px;">イ 工事契約の推移（令和2年度～令和6年度）について</p> <p style="margin-left: 40px;">ウ 令和6年度変動型最低制限価格(工事)について</p> <p style="margin-left: 40px;">エ 公契約条例について</p> <p style="margin-left: 40px;">オ 令和6年度第6回入札等監視委員会の宿題</p> <p>3 その他</p>			
委員からの意見、質問及びそれに対する回答			
意見・質問	回 答		
<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 審議</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 令和6年度工事契約抽出案件について (令和6年11月21日から令和7年3月31日まで)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象期間に入札された、総価契約（以下、総価）・一般競争入札（以下、競争）の工事契約について、説明した。 ・総価・競争の契約件数は14件、平均参加者数は2.5社、単純平均落札率は令和5年の88.00%から86.00%で2ポイント減少した。 ・変動型最低制限価格は14件中9件が算定で、算定率は64.3%であった。地域要件を市内本店としたものは10件、落札者の所在地区分では市内が10件、市内受注率は71.4%であった。市内の落札率は82.93%、市外の落札率は93.66%であった。くじ引きになった件は0件だった。 ・落札額1億円以上の高落札額契約は0件だった。 		

<p>* 資料 3、3 立川公園根川緑道霧の広場改修工事は直接工事費が皆同じく高くなっているのは。</p> <p>* 資料 4、特例的プロポーザル案件はどのような要件でどのような手続きをするのか。</p> <p>(2) 報告 ア 令和 6 年度工事契約の状況について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札率 95%以上の総価・競争分の 4 件について説明した。「立川市総合リサイクルセンターせん定枝処理施設排出コンベア更新工事」、「立川市柴崎市民体育館中規模改修工事(昇降機設備)」、「立川公園根川緑道霧の広場改修工事」、「立川市立立川第四中学校特別支援学級新設工事」。 ・ 総価・特命随意契約（以下、特命）3 件について説明した。「立川市立第二小学校等複合施設整備事業」(特例的プロポーザル案件)、「立川市錦町ポンプ場 No.4 雨水ポンプ用ディーゼルエンジン更新工事」、「立川市砂川中央地区庭球場改修工事」。 ・ ミスト制御装置設置工の機械を入れる金額が大きくなっている。 ・ 通常の仕様書ではなく、性能発注という形で設計と工事を一体として募集するというのが庁内で決まった。通常プロポーザル案件は資格審という会議で審議するが、これは庁議で検討し、ホームページで募集をした。 ・ 令和 6 年度の工事契約状況について、5 年度との比較を説明した。 ・ 契約件数は、令和 6 年度は 96 件で、令和 5 年度の 120 件から 24 件減少している。特命は 2 件増えて 12 件に増加した。 ・ 変動型最低制限価格は総価 71 件中 30 件が算定、算定率は 42.3%。算定となった平均落札率は 79.30%、未算定の平均落札率は 92.16%だった。 ・ くじ引きは 0 件だった。 ・ 地域要件は総価では市内が 71 件中 45 件。所在地区分では 71 件中 50 件が市内業者で市内受注率は 70.4%、平均落札率は 85.92%。市外受注者は 88.64%で 2.72 ポイント低くなっている。 ・ 平均応募者数、平均参加者数は令和 5 年度より減少した。
---	---

<p>イ 工事契約の推移(令和2年度～令和6年度)について</p> <p>* 入札参加者が急激な減り方をしている。技術者、働き手がいなことが原因か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度から令和5年度までの工事契約推移について説明する。 ・ 総価・競争の契約件数は71件、特命は12件と過去5年間で最低件数となり5年間の平均は113件。 ・ 単純平均落札率は、ここ数年々々上がっている。 ・ 平均参加者数は、令和6年度は2.5者で年々下がっている。 ・ 総価・競争で、契約件数が複数あった業種について、落札率の高い順に並べると90%以上が8業種であった。令和5年度は、5業種であった。業種によって落札率はかなり差がある。 ・ 登録社数が減ったり倒産が増えたりということはない。担い手不足が辞退の理由になっている
<p>ウ 令和5年度変動型最低制限価格(工事)について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変動型最低制限価格の実施件数が36件、うち総価が30件、単価が6件、平均有効参加者数が4.3者。算定になった案件の中でも参加者数が増えると落札率が下がっている。
<p>オ 令和6年度第6回入札等監視委員会の宿題</p> <p>* 同一案件で、令和6年度の予定価格が令和5年度より100万円増えているものがあるが、理由は何か。</p> <p>* 登録者数が多くても、入札参加者がいつも少なく参加メンバーが固定している案件については、地域要件を拡大してはどうか。</p> <p>* 他自治体と比較できないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「立川市立小学校及び中学校排水溝及び雨水浸透槽清掃等業務委託」の過去5年間の入札参加者について説明した。
<p>エ 公契約条例について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公契約条例の素案、逐条解説について説明した。 ・ 今後、施行規則や、業務手順、事業者向けの手引きなど検討していく。

<p>* 第 1 条、第 8 条別表 3、第 9 条、 第 10 条、第 12 条について、質問・ 意見があった。</p> <p>3 その他</p>	<p>・パブリックコメント、アンケート結果などについて説明した。</p> <p>・ 次回の開催は令和 7 年 6 月 25 日（水）午後 2 時</p>
--	--